

1. 件名：泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する面談

2. 日時：令和5年3月8日(水) 13時00分～13時20分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、西来主任技術研究調査官、馬場係員、松末技術参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 他4名 ※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

・泊発電所3号炉 基準地震動の策定について

（令和5年2月24日審査会合における指摘事項に対する整理状況について）

時間	自動文字起こし結果
0:00:02	規制庁タニです。時間になりましたので面談を始めますけども、面談の案件としては泊発電所 3 号炉の基準地震動の策定ということで、
0:00:13	2 月 24 日に審査会合を行ったもののラップアップということです。
0:00:18	資料 1、1 枚ペラを北海道電力から提出を受けてますけど、これ基本的には今日の面談というのはラップアップということで、
0:00:28	指摘事項の趣旨を確認していただくと、もちろんこの整理状況っていうのを説明しても、いただいてもいいんですけど、この方針でいいのか悪いのかとか、それをこちらが何かコメントするようなことは、
0:00:40	ありませんのであくまでこの趣旨、指摘事項の趣旨を確認していく、いただくような、
0:00:45	面談にしたいと思ってます。
0:00:49	資料の方これで、何か説明されます。お願いします。
0:00:55	はい。北海道電力の松村です。本日の面談よろしく願いいたします。
0:00:59	今、谷さんからあった通り、24 日の会合の指摘事項の確認と、あと今後の予定についてまず説明させていただきたいと思いますよろしく願いいたします。
0:01:13	はい。北海道電力の佐伯です。
0:01:16	それでは資料を説明させていただきます。指摘事項に対する整理状況についてということでちょっとタイトルつけておりますけれども、指摘事項の内容について、
0:01:26	ここですね、説明させていただきます。
0:01:29	衛藤会合において指摘事項として挙げられた項目につきましては、断層モデルを用いた手法による地震動評価ケースの選定において、
0:01:39	S s 1 を上回る周期で最大の応答スペクトルとなる地震動については、施設の影響が大きいことを否定できていないため、一部のケースを基準地震動として選定しないとする考えを再考することと、
0:01:53	ということでしたけれども、ご指摘としましては大きく二つあったのかなというふうに考えてございます。
0:02:00	で、一つにつきましては、当基準地震動 S s 1 を上回る周期で最大の応答スペクトルとなる地震動、これは 13 ケースございましたけれども、
0:02:12	そのうち、前回会合において最大となるのがごく一部の周期であり、他のケースで代表できると考えて、代表ケースとして選定していなかった 4 ケース。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:25	について、説明与える影響を可能、与える影響を与える可能性が否定できないというか、しきれないと。
0:02:34	いうことから整理することということで代表ケースに選定することで整理するという今のこと考えているというところでございます。
0:02:45	もう1点につきましては、S s 1を上回る周期で最大の応答スペクトルとはならないものの、代表ケースとしていた5ケース、
0:02:55	について、施設に与える影響を再整理をすることということかなということで代表ケースに選定する理由を明確にする。
0:03:06	もしくは、施設に大きな影響を与えないと考えられる場合には代表ケースに選定しない。
0:03:12	こととして整理をしていこうというふうに考えているものでございます。
0:03:18	スケジュールにつきましては下段の方に記載してございますけれども、現在選定方針の検討を行い代表ケースの選定ですとか基準地震の設定を行っているところと、
0:03:31	いうことで、3月20日の週に、資料提出。
0:03:36	で、説明させていただきまして、4月末に審査会合、
0:03:41	図っていただきたい、いただくべく、進めていきたいと考えているところでございます。また超過確率の参照につきましては、
0:03:51	地震ハザード評価については検討終了しているというところで先日来、ご説明させていただいているところですが、S sの審査後に、資料を提出して、説明していきたいと。
0:04:05	いうふうに考えているというものでございます。説明は以上となります。
0:04:14	井谷です。
0:04:17	だから趣旨、指摘事項の中身はもう特に迷ってるようなことはなくて趣旨が伝わってるっていいですかね。北海道電力。
0:04:30	はい北海道電力野末です。はい当日の指摘として等を
0:04:36	選ばなかった四つのケースチャンピオンになる四つのケースについての扱いを再考することってということそれともう一つが、
0:04:44	前々回から前回で新たに追加した五つの理由を明確にすることをしている理由を明確にするってということになりますので、その整理をする、その際に、もしかすると扱いをそれは今後の話になりますけど我々として整理した中で扱いが変われば、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:05:00	変わったということのご説明をしていくということでもその理由をしっかりと整理してご説明するということだと思っております結局四つと五つの扱いをしっかりとつ、
0:05:10	説明するということで認識しております。
0:05:14	はい。谷です。
0:05:17	伝わってると思います。最初にね僕言葉じりかもしれないですけど施設への影響を、
0:05:25	施設への影響を再整理し、するみたいなことを言われたんですけどそこがちょっと何か、
0:05:32	いや我々としては選定している理由を、野地さんおっしゃったように、どういう理由で選定したのかっていうのを、説明していただければいい。
0:05:43	いいかなと思う。まずは説明していただきたいと言うのが指摘の趣旨で、施設に与える影響がどうなのかっていうのを整理しろって言ってるわけじゃなくって、選定理由をちゃんとはっきりしてくださいと。
0:05:58	ということと、
0:05:59	あとは何か一つ目の、
0:06:01	一つ目に言われたのは、4、4ケースは、選定する。
0:06:06	選定しないっていうのはちょっと納得できてないんですけど選定するっていう方法もあるし、
0:06:11	もちろんSSHをこうぐっと上げるとかいう方法もあると選択肢はある中で、どうするかを決めてくださいと。もちろん会合の中で、
0:06:21	は、回り貸しははっきり4ケースを、もう、
0:06:25	選定しますっていうような方針まで聞けてるので、
0:06:28	そこは趣旨は伝わってると思っています。
0:06:33	で、
0:06:36	今後の工程も、
0:06:39	3月の
0:06:41	後半に資料が提出。
0:06:45	されると、それ、
0:06:49	受けて我々としても早い段階でも介護まで進みたいと。
0:06:54	思っていますので、準備でき次第、お願いします。
0:07:09	規制庁の名倉です。
0:07:12	それと

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:07:13	今回、
0:07:16	少なくとも、
0:07:18	選ぶべき。
0:07:20	ものは何なのかっていうことは、
0:07:22	考え方としてはかなり明確にこちらの方からお伝えをしたと。
0:07:27	ということで、実は、
0:07:32	それって今まで、
0:07:34	北海道電力が示してきた途中経過で、
0:07:38	示されているものではあるんですけど、
0:07:40	そういう意味で、考え方がもう少しシンプルになる可能性はあるんですけど、
0:07:46	そういう意味で、
0:07:49	いろいろと選定方法の整理とかをされてるんだけど、
0:07:52	いろいろ波を比較したりとかそういうことをしてるんだけどそういうところに関しては、逆にあまりこう重要でなくなってきたようなところもありますので、
0:08:02	そういう意味では、全体形をもっとしっかり整えていただくという意味では、今回のコメントを踏まえて、整理した方がいいかなという気はするんですがそこら辺はどのようにお考えですか。
0:08:20	北海道電力野尻でございますそうですね今言われたように前回この前の2月24日の会合の中で
0:08:28	こういうものを選ぶべき、全体のスペクトルの中で、
0:08:32	包絡線っていうんですかね、上をなぞるようなところが施設が影響が大きいということでその趣旨の方は
0:08:39	はっきりして影響の大きいものっていうのがはっきりしたなということだと思ってますただ一方で、そう言いながらも検討用地震ごとにまた整理をするっていう作業とかをした中で、
0:08:51	やはり個別の比較も前回出したからということではなくて、施設影響という観点で個別の比較を整理した上で落穂拾いというかそういうものがないのかっていう確認をして示していくのかなと
0:09:03	主たる影響の大きいものっていうのはおっしゃられた通り選べると思ってるんですがその抜けがないかという確認としての位置付けで、個別のは形の比較は形っていうんですかねスペクトルの一対一の比較っていうのは残す方向。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:17	と、今のところは考えております。以上です。
0:09:23	規制庁の名倉です。
0:09:26	まずう
0:09:28	13 ケース。
0:09:30	ふうに関してはこれはある一定の考え方でということですがそれ以外で、
0:09:36	北海道電力として、これは選んでおくべきものだということの説明として、
0:09:43	その説明の論理プロセスとして、
0:09:47	今までやってきたことを生かせるということであれば、
0:09:51	そこも含めて説明をしていただければと思います。
0:09:56	ただそのときにもやはり、
0:09:58	比較として重要になるのは、あくまでも周波数特性、
0:10:04	ですので、
0:10:05	あまりハケそのものに対しての比較っていうこと。
0:10:10	はあまり、何て言うのかな。これは北海道電力ウー自身も、あまりこう明確にそここのところで選ぶ選べないという判断はなかなか難しいということも、
0:10:21	今までおっしゃっていたと思いますので、そういったところも踏まえてですね、必要な要素が何なのかっていうことを重点的に、
0:10:31	見た上で、流れを整理していただきたいと思います。
0:10:36	私からは以上です。
0:10:40	はい北海道電力野尻ですありがとうございます我々の方も、スペクトルって周波数特性というところにポイントがある選ぶところのポイントだということを認識しておりますので、そこと、
0:10:52	あと、前回までお示ししているは形とかの比較も、どこまで残すのかもしくは補足としてちょっと位置付けを変えた中で示していくべきかというのをもう1回我々の中で整理して、またご説明をさせていただきたいと思います。ありがとうございます。
0:11:12	北海道電力齋藤でございます。今名倉さんおっしゃる通りの方向っていか我々の考えとしては同じつもりであります振り返ってみますと昨年の10月に特定せずとするの辺りのちょっと一緒にごっちゃになって
0:11:28	ご説明した辺りから少し話がちょっとずれてきたところもありまして、カテゴライズして、特性をカテゴライズしてというようなお話もいただ

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	いてからですね、その辺をきちんと分けてというようなこと、特性を見ながらということですね、
0:11:43	整理をしていこうということともう一つはやはり、この前のキーワードとしての施設への影響というような、大きなキーワードちょっとここ、わる迷走気味のところがありましてフローを整理するがゆえに、
0:11:55	そこからちょっと出てきたものを、完全に否定しないでですね最後まで行っちゃったというようなところもありますもんですから、その辺りをきちんとその本来の目的である施設への影響と、
0:12:05	というようなことを、後段規制のことまで踏み、若干今まで踏み込んで結果的に踏み込んでるところあったのかもしれませんがけれども、その辺を設置許可段階のその選ぶべき基準進度としての、
0:12:19	施設への影響というものを考えてですね、きちんと整理して、資料にしていきたいというふうに考えております。以上です。
0:12:32	規制庁鈴木です。おそらく対応はないと思うんですけど指摘事項と整理状況の方で、指摘事項と一部の4ケースかな。4ケース、基準地震動と選定しないとする考えを再考しなさいということで、
0:12:45	整理状況の方が何かあえて代表ケースに選定するっていうところで止めてるんですけど、一応その代表ケース=基準地震動というところは変わらないから、
0:12:56	一応その作業段階のフロー上の代表ケースっていうことで書いていて、特に何かその代表ケースから基準地震動に選ぶところの過程を何かいじるっていう、そういうことではないですよ。別にこれを、
0:13:09	おかしいと言ってるわけではなくて一応、みのための確認だけです。
0:13:13	はい。北海道電力野尻です。はい、そうですね資料状態表ケースということで我々前回の資料もちょっと代表ケースを選んでそれを基準地震動にするというプロセスだったので、ちょっと代表ケースという言い方をしておりますが結果としてイコール基準地震動になるということで整理されていくものというふうに考えております。以上です。
0:13:35	タニ層、
0:13:37	あとはね、会合では、作業スケジュールについてっていうのが、
0:13:43	最後というかクリティカルパスの話だとかいろいろあったと思うんですけどその辺のことはラップアップの中で今回のラップアップの中では、
0:13:53	対象とされないっていうこと。
0:13:56	ですか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:14:00	北海道電力野尻ですそうですね本日、基本的には基準地震動についてということのラップアップというふうに認識しています。ただ作業スケジュールについてのリスクウェイトそのクリティカルパスの考え方、
0:14:14	等については、我々として、今一度今整理をして個別のCriticalというんですかねスケジュールに影響を与えるような項目の整理というのをまた示していこうというふうに考えております。
0:14:28	のでそこについてはまた今後のスケジュールをご説明する中で、あわせてご説明することになると思ってます。以上です。
0:14:38	井谷です。だからスケジュールについても、会合で確認した通りきっちり趣旨が伝わって、何か1後段の審査に影響があるようなリスクはちゃんと把握して、
0:14:49	それをちゃんと準備するとかですねそういったことは、
0:14:53	もう、もうここでラップするまでもなく、十分に認識しているということだと理解しました。はい。北海道電力の根井です。おっしゃる通り我々としてのウエイトクリティカルになり得るような項目はしっかりピックアップして規制庁さんと共有するっていうのが目的になりますので、そこはしっかり
0:15:15	なかなか1枚にどこまで書ききれんかっていうのもありますけどそこは可能な限りわかりやすく説明っていうか見えるように、しっかり整えたいと思っております。以上です。
0:15:26	井谷です。いや、何かやりとりしててねちょっと我々言ったのはクリティカルパスの話も言ったんだけど、ちゃんとリスクを事前に把握してその対応を、
0:15:36	準備してくださいよと、例えばこないだの、これちょっと場が違うから、今スケジュールの話聞いてるときに、
0:15:46	或いは会合の後に面談で、スケジュールの話聞いたんですけど、何か地震の項目例えば、ハザード側で2ヶ月ずれたらもうそのまんま。
0:15:57	なんか、プラントが2.5ヶ月だとか2ヶ月とかそのままずれていくようなことが起きてました。で、あれはやっぱりですね基準地震動が増えるかもしれないけれどもちゃんと対応すること。
0:16:10	そういう嘘。事前にですね、
0:16:14	うまく孔口調整するっていうようなことをぜひしてくださいねっていうのが、前回の会合での我々の意図だったんですけども、今の何か最新のスケジュールはなんかそうならないような気もしてまして。
0:16:27	そこは、しっかりとですね、時間が

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:33	伸びないような管理をしていただきたいていうのが、会合で言った趣旨なんですけどそれは伝わってるでいいですか。
0:16:39	はい北海道電力野尻です。その通り地震動2ヶ月ずれて先日の面談の中でもあった通りいろんな項目に地震動当然影響していくわけの中ですでに検討始めているものも当然あってスケジュールに影響しないっていう項目もありつつ一方で、
0:16:55	どうしても決まってからやるっていう作業もあるということで中に2ヶ月どうしてもそのままスライドしているものもあるということで、たゞいづれにしても我々として御リスクの中で可能な、
0:17:06	限りスケジュールに当然影響しないように進めていくということで考えてやりくりをしていくということで進めてますのでそこはしっかり認識して、今後もやっていきたいと思ひます。はい、ありがとうございます。
0:17:19	はいお考え確認できました。
0:17:26	北海道電力から何かこう、確認しておきたいこととか、全般でありましたら、
0:17:32	言っただけならと思ひますないようでしたら、
0:17:35	これで面談を終わりたいと思ひんですけど、いいですかね。
0:17:39	はい北海道電力野尻です。
0:17:43	1点だけ確認で指摘事項として当然選出の会合のときにやりとりした項目として一つなんですけど、その中でいうと基準地震動に選定しない考えを再考することっていうことで4ケースの話、ただあの会合の中でも残りの5ケースの扱いについても明確にすることっていうのは指摘としてはないんですが我々としては当然資料化をしていくということで、
0:18:03	指摘事項側には特に入れないけど資料としてしっかり整理していくという整理をさせていただきたいと思ひますけどそこはそれでよろしいんですかね。
0:18:15	簡単です指摘事項というのは例えば次の会合の指摘事項として入れるかっていうこと。
0:18:21	それはねどっちでもいいですよ。何か、ただ単にこの間の会合の審議結果っていうのをそのまま載せたんだっていう話であれば、それでもいいですし、
0:18:32	より丁寧な、北海道電力としてこれは指摘を受けてることなんだと言っで認識されてるんだしたらそれは入れた方がいいっていうのもありますし、その整理の仕方っていうのもあると思ひます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:43	はい。北海道電力野尻です。わかりました。我々として当然回答として入れていくものであれば指摘事項として整理するというようなこともちよっと考えて整理したいと思いますありがとうございます。
0:18:56	はいお願いしますいいですかね他は。
0:18:59	はい。
0:19:00	それでは面談終わります。どうもお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。